

取付穴参考寸法

番号	変更・記事	日付	確認
△1	社名変更	2012.01.05	済
△2	外観図面化	2016.06.10	山本
△3	RoHS表記変更	2016.06.10	山本
△4			
△5			



RoHS Compliant Cd ≤75ppm

REMARKS BRASS: Cd ≤75ppm
PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

番号	部品名	材質	数量	処理	備考	尺 寸	製 図	検 図	承 認	確 認	品 名
7						3/1					SMA-PJ-1.32A(Ni)
6											
5	インサートスリーブ	黄銅	1	Au			渡邊	檜	山	三	
4	テフロンスペーサー	テフロン	1	--			'16.06.10	'16.06.10	'16.06.10	'16.06.10	
3	中心コンタクト	ベリリウム銅	1	Au			直弘	澤	本	村	
2	絶縁体	テフロン	1	--		単位					
1	シェル	黄銅	1	Ni		日付					
番号	部品名	材質	数量	処理	備考	日付	2007.10.03	投影法			図番 Y-1122995TT

仕 様 書

品 名 SMA-PJ-1.32A(Ni)

No. 1121183

図 番 Y-1122995TT

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JEITA RC-5234
2 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山 12.01.05 本	檜 12.01.05 澤	山 12.01.05 口

	項 目	条 件	規 格	
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 Y-1122995TT)	異常のないこと	
2				
3				
4	電 氣 的 特 性	絶縁抵抗	DC 500V	5000MΩ 以上
5		耐電圧	AC 750V 1分間	異常のないこと
6		接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ 以下
7		電圧定在波比	0.5～6GHzまで	1.2以下
8	機 械 的 特 性	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9		雌コンタクトの保持力	規格ピンゲージ0.28N以上	異常のないこと
10		ケーブル接続強度	軸方向引張力 39N以上	異常のないこと
11		結合部接続強度	軸方向引張力 約180Nを加えたとき	ねじ部の変形などの異常がないこと

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012.01.05
2		
3		

SMA-PJ-1.32A(Ni) 取付仕様書

適合ケーブル

CO-6F-DSB-CX50
1X32AWG(7/0.08)シース外径1.32

専用圧着工具

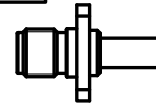
TA-16 (本体表示: DCC 0908)
TA-17 (本体表示: 50-0203)

図番 Y-1122995TT



作成	確認

部品構成



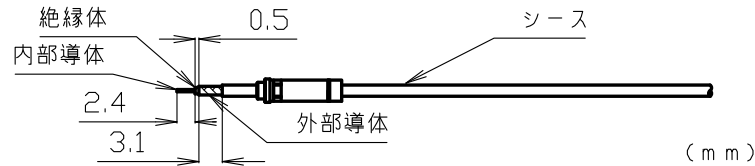
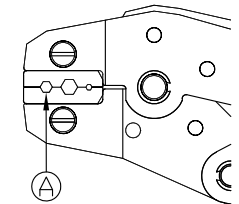
シェル

中心コンタクト



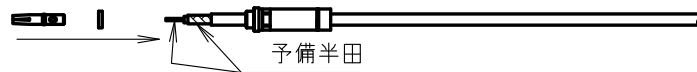
テフロンスペーサー

インサートスリーブ

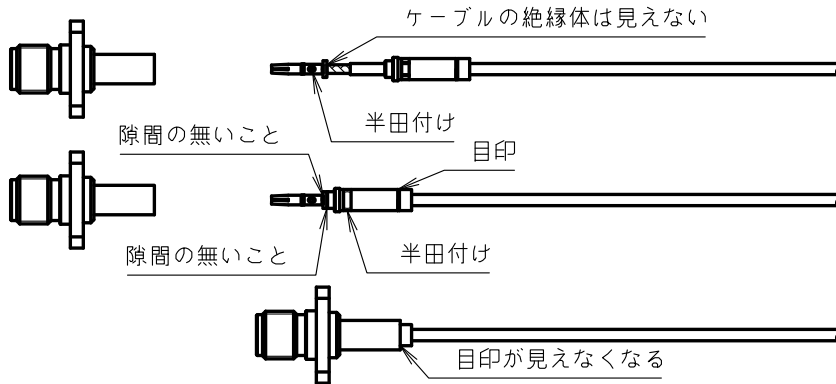


番号	変更・記事	日付
△	社名変更	2012.01.05
△	クリンプハイト・適合ケーブル 追記	2014.01.30

1 同軸ケーブルにインサートスリーブを通し、ケーブルを図中の寸法で切りとる。



2 芯線と編組に、しみる程度の予備半田をする。
注意: 予備半田後の外径が、余り大きくなならない事。



3 テフロンスペーサー 中心コンタクトの順に装着し、中心コンタクトに半田付けをする。
次に、インサートスリーブをスライドさせテフロンスペーサーに軽く押し当てながら、半田付けを行ない、最後にシェルを装着する。
この時、インサートスリーブの目印が見えなく隠れて見えなくなった事を確認する。
注意: テフロンスペーサーは、ケーブルの絶縁体が完全に隠れるように装着する事。
中心コンタクト、テフロンスペーサー、インサートスリーブ間に隙間が出来ない事。

4 シェルが奥まで入った事を確認し、圧着工具のA部で圧着し作業を完了する。
注意: シェルが奥まで入った場合は、インサートスリーブの目印がシェルに隠れて見えなくなります。
中心コンタクトの段と絶縁体の面がほぼ同一面になります。
この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

測定位置でのクリンプハイト 3.56~3.73mm

強度調節ダイヤル

